

# 田部謝恩財団 17

## だより

平成 26 年 3 月



○表紙写真

(上) 吉賀町の「七光保育所」での木育教室とロボ木一の贈呈式

(下) 第14回全国中学生木エチャレンジ大会

(一財) 田部謝恩財団

## 財団の活動

平成二十五年度、財団は次のような活動を行いました。

### ■ 森林林業技術者育成

#### ● 奨学金支給

本年度はインドネシアの六大学の林学部の学生八十名(応募者百五十名)に奨学金の支給を行いました。

内訳は、ボゴール農科大学二十名、ガジヤマダ大学十五名、ムラワルマン大学十五名、タンジュンプラ大学十名、ハサヌテイン大学十名、パプア州立大学十名で、支給額は一人当たり月額三十五万ルピア(約三千元)です。

#### ● 研究費助成

木材加工技術開発に対して研究費の助成を行いました。

本年度の研究課題と研究者名は次のとおりです。

① 「センダナパプア樹木成分が持つ蚊類を駆除する能力を天然殺虫剤に活用」

アンデユール・アジス

レニー・プイナワット(パプア州立大学)

② 「皮膚病のトリコフィトン病に対するシンダー樹脂の抗体作用と調合物が示す効能の解明」

ファスール・ユスロ、プヤング・スダルマジ

(タンジュンプラ大学)

### ■ 調査研究事業

#### ● 木材加工技術調査研究事業

① 十月三日～六日にかけて、臨沂三澤木業公司(合板工場)の中国人若手技術者七名が来日され、ミサワ岡山工場、株式会社日新本社工場を見学し、合板等の加工製造工程について日本研修を行いました。



7名の中国人技術者—境港

② 十月二十四日～二十七日にかけて、日新Gの若手技術者十名が中国臨沂三澤木業公司(合板工場)を訪問し、製造工程等の中国研修を行いました。

### ■ 森林育成啓蒙事業

#### ● 「木育」推進事業支援

年県内外で取組まれる木育推進事業の後援を行い、次の六つの事業を支援しました。

#### ① 山下先生指導の木育活動の支援

十月二十四日、那賀郡吉賀町七日市にある七光保育所で、園児、保護者が参加し木育教室開催と等身大口ポ木の贈呈式を行った。



山下先生からロボ木—贈呈



② 「赤ちゃんからはじめる木のある暮らし」

十一月十七日に松江市が開催した「環境フェスティバル」の一環として、東京おもちゃ美術館の多田館長の講演と県内の森林・林業・木材関係者を囲んで、木育普及についての円卓会議を開催し市民五十人が参加した。

③ 第十一回「島根県中学生ものづくり競技大会」

平成二十五年八月二十二日、島根大学附属中学校において中学生七名が参加し、木工の技を競いました。上位入賞者は中国大会を経て最終的に一名が全国大会に出場した。

④ 木育推進テレビ番組の制作

今回は出雲商高の木のおもちゃ製作授業や、市内の子育て支援企業の取組み、親子木工活動、山下先生インタビュー等を通して、島根の木育の今を考える「ウッドスタート・木からはじめる島根の木育」を制作した。番組は平成二十五年十二月二十一日(土)午前中にT S K山陰中央で放送され好評でした。

⑤ 第十四回全国中学生「創造ものづくり教育フェア」の支援と財団特別賞の表彰

「木工チャレンジコンテスト!」

平成二十六年一月二十五〜二十六日

於：東京都江東区の新木場タワー

各ブロック大会から選出された中学生の匠十六名が参加し、創意工夫、材料・工具を扱う技術と技能、作品の精度を評価基準に木工の技を競いました。表彰式では、島根の福井建造君が健闘して産業技術教育学会会長賞を、田部謝恩財団特別賞は熊本県の杉本塊理君が受賞しました。



競技会場の選手たち

① 出雲科学館での木育推進事業の支援

木と親しみ、森林環境の意識を高めるため、出雲科学館が実施する七種類の木工教室を支援しました。八月から翌年三月の十九日間に開催され、延べ参加者数は三千人余でした。



七種の木工教室名

- バードコールをつくらう
- 虫かごをつくらう
- たたくと響く木の箱ドラムをつくらう
- 来年の干支ウマのメリーゴーランドをつくらう
- かわいい木の小物をつくらう
- マキマキ鉛筆立てをつくらう
- いろいろな木の積み木をつくらう



